

# あわや大事故に！守りたい子どもの命



## からすの足あと

第2号

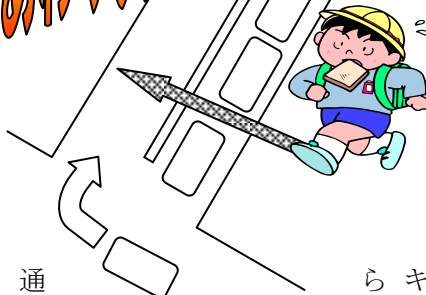
平成22年  
7月2日発行

### 地域の方からも心配いただきました

#### 渋滞中の車の間を

#### 通り抜けた子

先日、左の図のように渋滞している車の間を通り抜けた児童がいて、心配した地域の方から連絡を



いただきました。

子どもにとっては

「車が止まっているから大丈夫。」

という感覚だったのでしょうか。右折してきた車の急ブレーキで幸い事故には至らなかったものの、

だれもがヒヤリとする瞬間だったようです。

#### 全校生に道路

#### 横断の仕方を

#### 再度指導

これまでにも、交通安全教室等で安全

に道路を通行するための学習をしてきていますが、今回のことを教訓として、生徒指導主任が再び全校生に指導をしました。実際の現場をプロジェクトで示しながら、具体的に危険について伝えました。下写真は指導場面 また、登下校時に教員が交差点等に立つて、安全な通行の仕方について指導しました。

#### 家庭でも具体的な話を

太田南小学校区は、交通の便がよいとともに交通量の非常に多いところです。特に、塩江街道は朝夕のラッシュ時に大勢の児童が通行し、大変危険な状況です。

今回の出来事から、

「飛び出しをしてはい



けませんよ。」

といった話だけでは不十分ではないかと考えました。実際に交差点に立ち、車の動きを確認したり、安全な横断を試みたり、子どもたちが目や耳で確かめることのできるような指導を家庭でもお願いします。

子どもたちの「ヒヤリ事例」をお知らせいたただけませんか。子どもの命を守る情報として：

